

日本の未来のために 農業新時代

80年の農業教育の歴史と実績を背景に



公益財団法人 鯉淵学園

鯉淵学園農業栄養専門学校

<https://www.koibuchi.ac.jp/>



公式HP



会員HP

■ 目次

公益財団法人 鯉淵学園 ご紹介

- ① 農業を通じた青少年の**人格教育**・**指導者教育**
- ② **国土回復**
- ③ 伝統的有機農業の定着化・拡大
- ④ 日本の心、伝統文化を伝える農業の海外発信

「社会に発信する共同企画」のお願い
ご寄付・入会のお願い

■ 公益財団法人 鯉淵学園 ご紹介

公益財団法人鯉淵学園は、昭和23年に財団法人農民教育協会として農林水産省の認可を受けて設立され、「鯉淵学園農業栄養専門学校」の経営を主たる業務とし、「タネまきから食卓まで」を教育モットーとして農業と食の安全・安心に寄与できる教育を進め、6,000名を超える学生・研修生を送り出してきました。

平成25年には公益法人制度改革に伴い公益財団法人農民教育協会とし、さらに平成31年度からは国際農業コースを開設し、国際農業人材の育成を開始しました。

令和4年度からは法人名を公益財団法人鯉淵学園とし、「ゼロから始まる農と食」のモットーも掲げつつ、農業・栄養分野の教育・研究・地域貢献および国際貢献を力強く進める体制強化を図っております。

今後も農と食に関する教育を通して、社会の健全な発展に寄与する所存であります。

公益財団法人 鯉淵学園
代表理事 理事長 森 啓一

公益財団法人 鯉淵学園（鯉淵学園農業栄養専門学校）の概要

【所在地】

茨城県水戸市鯉淵町5965番地

【目的】

農と食に関する教育及びこれらの産業に貢献出来る人材の育成に関する事業を行い、我が国農業の発展と食の安全に寄与することを目的とする。

【事業】

鯉淵学園農業栄養専門学校の経営に関する事業

農業及び食品に関する試験・調査研究並びに農業者及び消費者に関する調査研究の事業

農業及び食品に関する各種講習会、研修会の事業

農業体験及び農産物の加工・調理体験に関する事業

農産物等の販売及びレストラン等の運営に関する事業

不動産の賃貸に関する事業

その他、本会の目的を達成するために必要な事業

①農業を通じた青少年の人格教育・指導者教育

日本の国力低下：

■背景

- ・第一次ベビーブームの1949年の出生数は269万人で、特殊出生率は4.32と過去最高であったが、2023年に1.20となり過去最低である。日本の人口は2004年の1億2千784万人がピークで、このままでは2100年には5千万人となることはほぼ確実である。人口減少問題は決定的に深刻である [01]。
- ・学校教育の現場では、中学生40万人、高校生12万人が不登校傾向にあり [02]、2023年度に学校が把握したいじめ件数は68万1948件、自殺などの「重大事態」と認定された件数は923件といずれも過去最多である [03]。

■計画

- ・農業を通じて大自然の体験により、自分が生きていること、誰かの役に立つことを実感する人格教育、日本の未来を背負う指導者教育を行う。

[01] 限りなく続く国力の衰退, 浅川基男, .日本機械学会誌 2022/1 Vol.125. 他

<https://www.jsme.or.jp/kaisi/1238-40/>

[02] 令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要, 文科省.

https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_2.pdf

[03] 学校でのいじめ過去最多 政府 対応策の方針改定を決定, 2024年3月23日 NHK ONLINE.

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240323/k10014399861000.html>

② 国土回復

農業の危機（高齢化、耕作放棄地拡大）：

■ 背景

- ・ 2020年の基幹的農業従事者数のうち、65歳以上の階層は全体の70%（94万9千人）、49歳以下の若年層の割合は11%（14万7千人） [01]。
- ・ 全国の耕作放棄地は、1990年が21.7万haに対して2015年は42.3万haと、25年間でほぼ倍増 [02]。

耕作放棄地：耕作放棄地とは、以前は農地として利用されていたが、過去1年以上作物が栽培されておらず、今後も栽培する意思のない土地のことです。農林水産省が実施する調査（農林業センサス）で定義。

東京都の面積：約22.0万ha 山梨県の面積：約42万ha

■ 計画

- ・ **新規就農者の育成** と **担い手不在の全国の農園に輩出**
- ・ **耕作放棄地の再活用**

[01] 基幹的農業従事者 農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r3/r3_h/trend/part1/chap1/c1_1_01.html

[02] 遊休農地とは？ 耕作放棄地との違いや現状、活用事例を一挙解説！ 2020/10/30日 minorasu

<https://minorasu.basf.co.jp/80092>

③ 伝統的有機農業の定着化・拡大

日本の農業 = 食料安全保障の崩壊：

■ 背景

・世界的な人口増加等による食料需要の増大、気候変動による生産減少など、国内外の様々な要因によって食料供給に影響を及ぼす可能性があり、食料の安定供給に対する国民の不安が高まっている [01-03]。

・農家、農業法人は昨今の化学肥料の高騰等によって半数が赤字で、日本の農業が崩壊して、食料安全保障が確保できなくなる日は遠くない。その解決策として有機農業があり、食の安全からも望ましい [04]。

■ 計画

・伝統的有機農業の指導者を育成して、定着化・拡大する。

[01] 食料安全保障強化政策大綱 食料安定供給・農林水産業基盤強化本部 令和5年12月27日

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/pdf/20231227honbun.pdf>

[02] 【食料自給率わずか10%】飢える日本を大激論！ 愛知のニュース 2024年7月13日

<https://www.youtube.com/watch?v=7Xw2BCf3wYg>

[03] 日本人は低い食料自給率のヤバさをわかってない 6割以上を海外に頼る状況を放置していいのか
東洋経済 ONLINE 2021/10/30

<https://toyokeizai.net/articles/-/464342>

[04] クローズアップ現代 コメも野菜も...“国産”に危機!? 2023年8月29日

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4816/>

④日本の心、伝統文化を伝える農業の海外発信

世界で多発する紛争と精神的荒廃：

■背景

- ・「和食」は、日本列島の多様な地域性と四季折々の新鮮な食材とその持ち味を生かした食文化であるとともに、正月や田植え、収穫などの地域社会の年中行事などとも密接につながった社会慣習として、昔から日本人の命と暮らしを支えてきた。そしてその根幹には、日本の稲作農業があった。
- ・日本人は昔から集落の人たちが協働して水田を維持して、きれいな水の循環を守ってきた。日本の国土のシンボルともいえる富士山は、そうした森林と里そして海の命の水の循環をつなぐ日本人の心のシンボルである [01,02]。

■計画

- ・日本の心を築いた自然と伝統文化にあふれる全国の農業をネットワーク化して、外国人の観光、学びの場とし、日本の農業を海外発信する。

[01] 【特集・日本文化は大地を耕すことから】日本文化を支える稲作農業 JA.com 2014年1月20日
<https://www.jacom.or.jp/kome/tokusyu/2014/01/140120-23224.php>

[02] 日本の農業と伝統文化 解説資料

https://www.nhk-ed.co.jp/wp-content/uploads/2023/01/nougyou_Kaisetsu.pdf

■ 社会に発信する共同企画のお願い

日本の未来のための農業新時代に向けて
「社会に発信する共同企画」を立案・実行

(例)

①当学園での特別講演、特別授業、学生指導

②教材制作

- ・記事執筆、対談、e-learning 教材制作などにより、
社会に発信する「農」と「食」のプラットフォーム整備

③農作物、6次化事業の商品の共同開発

④当学園の圃場のご活用（大自然とのふれあい、農作物の自社栽培等）

⑤飲食業界／食品業界 様の新入社員、幹部社員のご研修

- ・e-learning 受講 <https://koibuchi.net/online>
- ・農業技術センターでの研修 <https://www.koibuchi.ac.jp/agriculturaltechnology/>

⑥学生の就職先としてのご検討

■ご入会・ご寄付のお願い

公益財団法人は、運営資金の基本は「会費・寄付」です。
日本の未来のために**農業新時代**をチームで実現

「会費・寄付」活用計画例

- ①**農業を通じた青少年の人格教育・指導者教育**
 - ・教育者の確保、教材開発
- ②**伝統的有機農業の定着化・拡大**
 - ・土地の拡大、有機農業に必要な資材調達
- ③**日本の心、伝統文化を伝える農業の海外発信**
 - ・日本の心、伝統文化を伝える農業の調査研究、海外発信
 - ・国内伝統的農業のネットワーク化と海外観光客の受入れの調査

公益財団法人鯉淵学園へのご入会・ご寄付のお願い

ご入会 https://member.koibuchi.ac.jp/?page_id=594

ご寄付 https://www.koibuchi.ac.jp/assets/images/page/nominkyu/kifuno_onegai.pdf

公益財団法人 鯉淵学園へのご寄付は、税制優遇の対象となります。



会員HP